

## ねらい

我が国は人口減少時代を迎えているが、これまで成長を支えてきた労働者が減少しても、トラックの積載率が5割を切る状況や道路移動時間の約4割が渋滞損失である状況の改善など、労働者の減少を上回る生産性を向上させることで、経済成長の実現が可能。

そのため、本年を「**生産性革命元年**」とし、省を挙げて**生産性革命に取り組む**。

経済成長 ← 生産性 + 労働者等

労働者の減少を上回る生産性の上昇が必要

## 3つの切り口

「**社会のベース**」の生産性を  
高めるプロジェクト

「**産業別**」の生産性を  
高めるプロジェクト

「**未来型**」投資・新技術で  
生産性を高めるプロジェクト

## 第1回本部会合で発表したプロジェクト

- (1) 「**社会のベース**」の生産性を高めるプロジェクト
  - ・ピンポイント渋滞対策 ～渋滞解消で労働力の創出～
  - ・渋滞をなくす賢い料金
  - ・クルーズ船需要の取込み
  
- (2) 「**産業別**」の生産性を高めるプロジェクト
  - ・本格的なi-Constructionへの転換
  - ・オールジャパンで取り組む「物流生産性革命」の推進
  - ・新たな住宅循環システムの構築と住生活産業の成長
  
- (3) 「**未来型**」投資・新技術で生産性を高めるプロジェクト
  - ・急所を特定する科学的な道路交通安全対策
  - ・自動運転技術、ドローンの活用